

出雲の国空き家テック 御中

あずきざわ貴洋後援会事務所

回答書

1. 空き家バンクの現状と今後について

空き家バンクだけでなく、今後の空き家対策については、空き家対策に取り組んでいただいている民間団体に弁護士、司法書士、宅地建物取引主任者等の専門家、そして何よりもそれぞれの地域の自治会等にもご協力をいただき、官民が一体となった対策を推進していきたいと考えます。

2. マイカーに依存する地域の交通アクセス面について

市街地以外の移動手段を確保するにあたっては、日頃の移動実態やニーズをしっかりと踏まえた上で、まずは自治体の交通政策として公共交通で担うことを模索し、利便性と公共交通の持続性の向上に取り組むべきだと考えます。ただし、それでも見通しが立たない場合には、福祉政策との融合や民間の生活支援サービス（移動販売等）の活用等を検討することが考えていきたいと考えます。

3. 中山間地域、里山地域の社会インフラの維持管理について

社会インフラの維持管理だけではなく、自然環境の維持管理にも多くの農山漁村等での一次産業に従事される皆様の多大なるご尽力には頭が下がる思いです。今後もこの出雲市が誇るべき中山間地域、里山地域を守るために、一次産業の振興、所得向上のための施策をすすめていきたいと考えます。

4. 自治会（町内会）の運営と行政との関わりについて

自治会においては、その加入の推進を今後も引き続き推進していきます。コミュニティの強化のためにも空き家対策や地域住民からの集落で暮らしたいという強い要望や都市住民における田園回帰志向の高まりをしっかりと捉え、多様な世代によるコミュニティの形成を推進していきたいと考えます。